

科目名称：	人間と社会（ビジネス実務学科）	
担当者名：	若月 博延	
区分	授業形態	単位数
基礎教育科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
人は社会で生きている。もしくは生きるべき社会を創り上げる。我々自身と社会は、固定された存在ではなく、それぞれ社会によって人間が変わったり、また人間によって社会が変わることもある。「そこ」に生きていることを自覚し、そこで起こっていることを分析する。それを学ぶのが社会学です。我々の周りで起こっていることを理解し、生きていくためのツールを手に入れましょう。		
授業の達成目標・到達目標		
社会では毎日、硬軟さまざまな出来事が起こっています。その実際に起こっていることを正確に理解しましょう。新聞に書いてあることが、テレビで報道されたことが本当の事なのか、それを判断するための社会学のスキルを身に付けます。 正確に理解できたあとは、それを分析し、どうしたほうがいいのか自分で判断できるようにします。 全4回のグループディスカッション、プレゼンテーションでは事前学習を確実にを行うことでより学修効果を生みます。宿題レポートについては回収し、課題の理解度をチェックします。		

基礎教育科目	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神「遊学の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	○
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの専門分野において貢献できる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様な社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力が身についている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)	0	0	50	50	100
全学DP(2)					0
全学DP(3)					0
全学DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
チームでの話し合いについて	意見の少ない人にも発言を求めて、積極的に場を盛り上げた	自らは発言し、場を盛り上げる手助けをした	話し合いに参加し、相応の意思表示はできた	話し合いにいただけ、もしくは不参加
自分の考え方を発言出来たか	積極的に自分の意見を発表し、話し合いをリードした	話し合いにおいて発言者の意見に対し、自分の意見の表明は行った	他人の意見に賛成や反対の表明はできた	消極的な参加にとどまった
グループでの意見取りまとめについて	グループの結論を出すのに積極的にリードした	グループの結論を出すのにサポートした	グループの結論を出すのに意見が言えた	関わらなかった
プレゼン作成について	自らリードして作成した	作成を積極的にサポートした	作成に多少関わった	関わらなかった

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 個人とは、集団とは、社会とは	1週間、興味のあるニュースについて記事をレポートにまとめる	30分
第2回 メディアリテラシー：話題提供(クリッカー利用)	マスコミについてのニュースや関連サイトを調べキーワードを抜き出す	30分
第3回 メディアリテラシー：グループディスカッション(新聞やその他マスコミの問題点をまとめる)	資料を基にマスコミに関する問題点を宿題用紙に整理しておく	30分
第4回 メディアリテラシー：プレゼンテーション(グループ毎にプレゼンをし相互評価)	グループディスカッションの結果をプレゼンにまとめる	90分
第5回 ジャーナリズム：話題提供(クリッカー利用)	ジャーナリズムについてのニュースや関連サイトを調べキーワードを抜き出す	30分
第6回 ジャーナリズム：グループディスカッション(ジャーナリズムと自己責任について問題点をまとめる)	最近起こったジャーナリズムと自己責任について問題点を宿題用紙に整理しておく	30分
第7回 ジャーナリズム：プレゼンテーション(グループ毎にプレゼンをし相互評価)	グループディスカッションの結果をプレゼンにまとめる	90分
第8回 日韓関係：話題提供(クリッカー利用)	日韓関係についてのニュースや関連サイトを調べキーワードを抜き出す	30分
第9回 日韓関係：グループディスカッション(日本と韓国の歴史問題について問題点をまとめる)	最近起こった日韓の問題について宿題用紙に整理しておく	30分
第10回 日韓関係：プレゼンテーション(グループ毎にプレゼンをし相互評価)	グループディスカッションの結果をプレゼンにまとめる	90分
第11回 世界で活躍する日本人1～話題提供	第2次世界大戦の日本と世界の関係について関連サイトを調べキーワードを抜き出す	15分
第12回 世界で活躍する日本人2～話題提供	杉原千蔵について関連サイトを調べキーワードを抜き出す	15分
第13回 自分たちの未来：話題提供(クリッカー利用)	世界人口増加についてのニュースや関連サイトを調べキーワードを抜き出す	30分
第14回 自分たちの未来：グループディスカッション(日本と世界の未来について問題点をまとめる)	日本と世界の未来についてニュースや関連サイトを調べキーワードを抜き出す	30分
第15回 自分たちの未来：プレゼンテーション(グループ毎にプレゼンをし相互評価)	グループディスカッションの結果をプレゼンにまとめる	90分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。
グループディスカッションのアクティビティを50%、プレゼンテーションを50%で評価する。

課題に対するフィードバック

ルーブリックを使用し、評価を返却する。

教科書・参考書

授業ごとに資料を配付